

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深める取組を推進する決議

すべての拉致被害者の一日も早い帰国のため、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会及び北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会は、ブルーリボンの普及とアニメ「めぐみ」の学校上映拡大を運動方針の重点項目に挙げて、国民運動として取り組んできた。

本県においても、「めぐみさんと家族の写真展」の開催や映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」の上映会を開催するなど、県民の拉致問題への理解を深めてきたところである。

ブルーリボンのブルーは、近くて遠い国である北朝鮮と祖国である日本を隔てる「日本海の青」と、拉致被害者とその家族を唯一結んでいる同じ空である「青い空」をイメージしている。その青色に託された意味を受け止め、心を一つにして、拉致問題に取り組むことが極めて重要である。

北朝鮮による日本人の拉致は、断じて容認できるものではなく、あらゆる方策を講じて拉致被害者全員の帰国を実現させなければならない。

よって神奈川県議会は、拉致被害者全員の救出に向けて国民運動をより強化するために、次の事項について積極的に推進する。

- 1 ブルーリボンを着用することで、北朝鮮による拉致被害者の生存と救出を信じる意思を示し、拉致問題の県民への一層の理解促進を図ること。
- 2 アニメ「めぐみ」上映をはじめとする北朝鮮による拉致問題啓発事業について、神奈川県議会は行政、県民と一丸となって取り組み、国民運動を推進していくこと。

以上のとおり決議する。

令和 3 年 1 2 月 1 7 日

神 奈 川 県 議 会